



学校だより

平成31年4月27日

5月号

調布市立第一小学校

校長 川島 隆宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> TEL042(481)7636

平成から令和へ

副校長 飯島 慶裕

校庭の木々の若葉も一段と鮮やかになり、さわやかな季節になりました。入学・進級して約1か月がたち、子供たちは新しい学年・クラスにも慣れてきたようで、元気に学校生活を送っています。

朝、校内を歩いていると、すれ違う子供たちから、「副校長先生、おはようございます」と元気な挨拶が返ってきます。特に、低学年の子供たちは全身で挨拶するかのように、とてもすてきな笑顔でしてくれます。朝の気持ちのよい挨拶は、今日一日がんばろうという元気のもとになっています。

ところで、入学式後、6年生の子供たちは、1年生のお世話をしています。早く登校して、1年生が来るのを教室で待っています。上履きを忘れて困っている1年生と一緒に職員室まで靴を借りに来たり、朝の準備を手伝ったりしています。1年生も、6年生のお兄さんやお姉さんがそばにいてくれるおかげで、安心して学校生活をスタートできたようです。6年生は、4月5日の入学式準備の作業でも、

1年生の教室の飾り付けだけでなく、机やロッカーの中まで雑巾掛けをしてきれいにしていました。1年生を迎えるための大きな学校行事に、自分たちが関わることを通して、最高学年としての責任感と自覚を新たにしているようでした。

まもなく、平成が終わり、令和の時代が始まります。様々なメディアでも、平成はどんな時代だったのか、振り返る企画がたくさんあります。昭和から平成に変わるときにも同じようなことがありました。世の中は日々変化し、またそのスピードも速まってきています。しかし、この大きく変化しようとする時代においても、変わらないもの、変えてはいけないことは、相手を大切にしようとする気持ちではないでしょうか。

学校は、保護者や地域の皆様と協力し合って、子供たちに相手を思いやり、信頼する気持ちを育てていくよう取り組んでまいりますので、御協力をお願いいたします。

調布市防災教育の日について

東日本大震災発生から8年以上が過ぎました。「天災は、忘れたころにやってくる」と言われます。「調布市防災教育の日」を機会に、各御家庭でも、大きな地震が起きたときにはどこに避難するのか、非常持ち出し袋は大丈夫かなど、災害に対する備えを再確認していただけたらと思います。

5月の生活目標 廊下・階段は静かに歩こう

廊下や階段を静かに歩行することは、安全に気を付け、落ち着いて生活する上で大切なことです。

廊下・階段歩行のルールを身に付けさせると同時に、楽しく明るい学校生活を送ることができるようになりたいと思います。

